

2011-B					
拠出金・基金の名称:		持続可能な資源管理に関する国際パネル支援			
種 別		イヤーマーク ノン・イヤーマーク			
拠出先の国際機関名: 国連環境計画 (UNEP)					
【所管官庁担当局課・室名】: 大臣官房 廃棄物・リサイクル対策部 循環型社会推進室					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 天然資源の持続可能な利用に関する我が国の知見を同パネルでの議論に反映し、また我が国の関心事項に対応した議論を同パネルで行ってもらうためには、同パネルに対して財政的にも支援を行い、発言力を確保しておくこと。					
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率 (%)
平成23年度	15,130	-	-	円建て	0
平成22年度	15,980	-	-	円建て	0
平成21年度	17,510	-	-	円建て	0
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 UNEPの「UNEP資源パネル」に対して平成20年度より資金拠出を行うことにより、多岐にわたるパネルの活動の着実な進展に貢献している。特に我が国から唯一、パネルメンバーとして参加している森口祐一国立環境研究所循環型社会・廃棄物研究センター長はパネルの主要テーマの一つである「金属資源・リサイクル」の知見取りまとめにおいて中心的な役割を果たしている。我が国からの資金拠出等に基づき、平成21年11月にバイオ燃料に関する報告書が、平成22年5月に金属資源のストックに関する報告書、同6月に資源の生産・消費に伴う環境影響に関する報告書が公表され、また、今後も毎年複数の報告書の公表が予定されるなど、パネルの活動が着実に進捗しているところである。 さらに、21年3月にはアジア各国の政策責任者とUNEPパネルメンバーの参加による「持続可能な資源管理に関するアジア地域セミナー」をUNEPパネル事務局と共催し、パネル活動にアジアの政策ニーズを反映させる観点からも主導的役割を果たしている。					